

推進ニュース15号について「広島 秋の教育のつどい」のニュースです。その様子を報じた「中四国せいねんネット」が届いています。

<h2>中四国せいねんネット</h2>	2016.11.1 発行 第33号 (通算第46号)
---------------------	----------------------------------

秋のつどいが行われました！

10月29日(土)に、南区民文化センター大会議室にて、『広島県のゆきとどいた教育をすすめる秋のつどい』が開催されました。多方面から、教員・保護者・生徒合わせて30名程度の参加がありました。青年教員の参加は少なかったのが残念でしたが、今後の活動を進める原動力となりました。



今回のメインは、岡山県の高校生の発表です。岡山では「高校生サミット」を新しく立ち上げ、生徒が自ら考え、積極的に外と関わり、学びを深め、社会の問題に対して行動を起こしています。(取り組みの詳細は添付ファイルで)



自分達が外に出て大きな刺激を受け、「この思いを何としても地元の仲間たちと共有したい!」という強い気持ちが、この取り組みを進める力になっていると感じました。(私が広島での青年部活動やウィンターセミナー開催を決意したのと同じ思いだなぁと、勝手ながら彼らに親近感を持ちました♪) 生徒のこうした活動を支える先生方のご苦勞があつてのこととは思いますが、これを機に、岡山の高校生がもっともっと躍動するのを期待すると同時に、中四国各県でこの取り組みから学び、新たな動きが展開できるといいですね☆



後半は、高校生の発表を受け、各グループで意見交換などが行われました。グループには山陽高校のW君が参加してくれていました。憲法ミュージカルに出演していたW君、実はいやいや担任の先生に出演をお願いされていました。しかし、そこで色々なことを学んだことをきっかけに“人ともっと関わる”、“意識的に参加する”ようになったとっていました。そこから、公立小学校の先生からは広島での平和学習をもとにした世の中について“学ぶ”ことの意義や、高校生の保護者からは全国父母懇への参加が活動のきっかけとなったことなど、多くの議題が出て、活発な議論が行われました。【森田先生より】



つどいには、全国私教連の山口書記長も参加しておられました。中四国の動きは全国でも注目されています。次はTwitter in 京都と山口全私研ですよ！

次回(第34号:通算47号)配信日は11月中旬の予定です。お楽しみに♪